

# 島根難病研究所が開発に携わった「居眠り運転防止シート」が 第8回産学官連携功労者表彰を受賞

平成 22 年 5 月 30 日 山陰中央新報



国土交通大臣賞を受賞した居眠り運転警告シート  
島根難病研究所提供

## 居眠り運転警告シート 島根難病研などに大臣賞

来年度実用化  
目指す

島根難病研究所(出雲市坂治町)が開発に携わった「居眠り運転警告シート」がこのほど、国の第8回産学官連携功労者表彰で、国土交通大臣賞に選ばれた。眠気の予兆である脈波の変化を検知し、運転手に知らせるシステムが「事故の未然防止に新たな可能性を開いた」と高く評価された。

同シートは、島根難病研究所の亀井勉研究部長(49)と村田幸治研究員(39)が東京、大分県大学や車のシート製造会社テラツリーング(広島県)と研究グループをつくり、2004年から4年間をかけて開発した。居眠り状態になる10分程度前に、脈の波形に前兆が現れることを究明し、運転席に測定センサーを設置。感知したデータをコンピュータで解析し、眠気がする前に、車内のモニター画面や音声によって、運転手に危険性を知らせるようにした。

11年度の実用化を目指しており、運送会社などに導入の動きもあるという。村田研究員は「目標は運転手の安全。今後、実用化され、眠気を感じやすい高速道路での重大事故防止につなげたい」と話した。

産学官連携功労者表彰は、大学、公的研究機関、企業等の産学官連携活動において、大きな成果を収め、あるいは、先導的な取組を行う等、産学官連携の推進に多大な貢献をした優れた成功事例に関し、その功績を称えることにより、我が国の産学官連携の更なる進展に寄与することを目的として、内閣府が平成 15 年度より創設したものです。

## ご支援ありがとうございました。

各研究の推進にあたりましては、平成21年度に下記の方々からご寄附をいただきました。  
深く感謝申し上げますとともにご報告いたします。

### 遺伝体質研究部門

株式会社デルタツーリング  
ひかわ医療生活協同組合

### 老年医学研究部門

日本メドトロニック株式会社

### 小児難病研究部門

日本医師会	いちご調剤薬局	出雲大社教 管長 千家達彦	
大分こども病院	あいあいクリニック	ケアイティ企画	江口内科医院
医純会すぎうら医院			
赤木 禎治	朝山 裕	安達 和夫	有田 茂夫
井田 光晴	伊藤 新作	今岡 るみこ	内山 温
江口 茂雄	江角 法明	遠藤 正博	大城 研二
大田 宣弘	小豆沢 政義	小野 安生	賀屋 茂
久野 数男	小口 弘毅	後藤 才示	小林 百合雄
瀬戸 嗣郎	曾田 一郎	園山 雅夫	高梨 俊夫
武田 勇	田中 三雄	恒松 克己	東儀 君子
長岡 三郎	西村 新吉	西村 順昭	林 丈二
福田 雅美	藤原 卓	楨野 富夫	舩谷 篤志
村上 秀子	森広 啓示	渡部 貴美子	古瀬 俱之

(敬称略 順不同)